

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	細川 昭広、砂田 尚子、柏木 隆寿
調査実施年月日	平成27年7月3日(金)
調査先 自治体名等	東京都文京区
調査項目	「ぶんきょうハッピープロジェクト」について (文京区男性不妊治療検査費助成事業含む)
調査目的	東京都文京区における少子化対策の取り組みを通し、子どもを望むすべての市民が安心して子どもを産み育てられるよう支援する事業の調査研究を行う。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:206,073人 (H26.10.1現在) 行政面積:11.29km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>文京区保健衛生部健康推進課長 渡邊了氏に説明を受けました。H26年度から開始した「ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト」とは様々な団体や企業等に「ハッピーベイビー応援団」に加入していただき 協働で事業を展開し区における少子化対策の推進を図ることで主な事業として①妊娠・出産等に関する相談窓口の充実、②20～45歳の区民に対し結婚・妊娠・出産・育児等についての意識調査③周知・啓発事業、④成人向け・中学生向けの妊娠・出産等に関する啓発用冊子の作成・配布などがある。またH27年4月からは新たに「文京区男性不妊検査費助成制度」がスタートし不妊の原因の半数程度は男性側にあるとの現状を鑑み夫婦で協力して不妊治療に取り組むため検査日現在、区内在住で妻が43歳未満の男性全員を対象に保険診療外の精液検査(通常3,000～5,000円)及び内分泌検査(通常7,000～8,000円)の両方を受けた場合、10,000円を上限に助成する施策。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>「ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト」は「ハッピーベイビー応援団」加入国や医療機関、企業等から協賛費用や冊子作成ノウハウ、アイデアなど様々な支援を受けて進めており企業の社会貢献(CSR)活動の一環として参加できる部分とも合致しているため継続的に行える事業と感じた。本市でもH27年度から「室蘭市子育て応援団登録制度」が始まったが現在は登録企業・団体を増やすことに重点が置かれ応援団全体で連携していく活動が見えず、安定的な財源による事業実施が今後の課題と思う。また登録によって企業のCSR活動をどう評価していくかも本市並びに市民への課題と考える。「男性不妊検査費助成制度」については女性が妊娠するためには夫婦が協力して不妊治療に取り組むきっかけであり、女性側が過度に治療費をかけずに身体的、経済的負担を軽減することにもつながるので有効な施策と思う。本市が子育てしやすい環境をアピールするためには医療機関の充実だけでなく行政として市民の切実な悩みにどう向き合うのかが問われる。今回は調査できなかったが文京区では「文京区版ネウボラ事業」(妊娠・出産包括支援事業)も実施しており機会があれば調査したいと感じた。</p>